



# #彩の国けんけつ NEWS !!

第4号  
～2019年春～



コラボ



日本赤十字社

埼玉県  
赤十字血液センター



こんにちは！！

埼玉県立常盤高等学校 看護科 JRC(青少年赤十字)部です！  
常盤高校は、看護師を育成する5年一貫の専門高校です♪  
未来の看護師であるわたしたちから、  
埼玉県民のみなさんへ献血情報をお送りします！



埼玉県献血マスコット  
「エビオ君」

## テーマ：輸血を受けた方へのインタビュー！！

1号は埼玉製造所見学レポート、2号は献血体験レポート、  
3号は受血者の実態レポート、とお届けしてきましたが、  
みなさん、読んでいただけましたか？  
(献血ルームやホームページで読めますよ！)

…そして、今回の4号は！  
みなさんの血液が  
どんな患者さんのもとへ  
届いているか  
お伝えするために、

実際に輸血を  
経験された、  
女優「友寄蓮さん」  
にインタビューを  
しました！



ともよせ れん  
友寄蓮さん

1995年3月29日東京生まれの24歳。  
O型。高校2年生の秋に急性リンパ  
性白血病と診断される。  
1年4ヶ月の闘病生活を経て芸能界  
デビュー。舞台やスポーツのリポ  
ートなどジャンルを問わず活動。  
現在は「彩の国けんけつ大使」とし  
て、イベントや講演会をとおして、  
献血のPRを行っている。

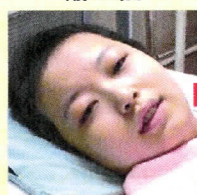
Q1. 「急性リンパ性白血病」とはどのような病気ですか？

A1. 白血病にもいくつか種類があるのですが、小児のなかで一番多いとされている型  
です。基本は抗ガン剤のみで治療を進めていきます。  
血液を自力で作ることが出来なくなる病気なので、数値が下がってしまったら  
「輸血」をして補う必要があります。

Q2. 輸血前後の気持ちはどうでしたか？

A2. 輸血前は顔が真っ白で、  
寒気や頭痛、嘔気がし不安でした。  
輸血後は体が温まり、頬や唇に  
血色が戻ったのを見て、生きている  
のを実感しました。  
「この血液は誰がくれたのか？」  
考えていました。

輸血前



輸血後



病室



日本赤十字社 埼玉県赤十字血液センター  
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

